

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表：令和6年3月18日

事業所名：運動学習支援教室そら・ふね長浦

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	11	2	0	0	先生方の工夫が伝わってきます。	出来るだけ、使いやすいように環境を整え、パーティション等で仕切って行っております。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	13	0	0	0	手厚い支援だと感じます。	
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	8	3	0	2		
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	13	0	0	0	保護者の漠然とした悩みを理解し、丁寧に文章化してくれました。	
	5 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	12	1	0	0	先生方の知識の豊富さを感じます。	
	6 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	13	0	0	0		
	7 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	13	0	0	0		
	8 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	5	0	1	7		
	9 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	13	0	0	0		
保護者 への 説明等	10 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	13	0	0	0		
	11 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング*4等）が行われているか	8	1	2	2		
	12 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	13	0	0	0	いつも丁寧に連絡帳を書いてくださり、ありがとうございます。	
	13 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	11	0	1	1	心の支えとなっています。	
	14 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	1	4	5	父母会等が無いので助かっていません。	今後も開催は特に考えておりませんが、今年も行事等は計画していこうと検討中です。
	15 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	11	1	0	1	LINEでの連絡や手書きの連絡帳など、相談しやすいツールで運用してくれているのでありがたいです。	

	16	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	13	0	0	0		
	17	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	10	0	0	3		
	18	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	12	0	0	1		
非常時等の対応	19	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	11	0	0	2		
	20	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	12	0	0	1		
満足度	21	子どもは通所を楽しみにしているか	13	0	0	0		
	22	事業所の支援に満足しているか	13	0	0	0	親子共々大変満足しています。	

※この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

保護者等からの放課後等デイサービス支援事業所評価の集計結果

公表：令和6年3月18日

事業所名：運動学習支援教室そら・ふね長浦

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	11	10	0	3	色々工夫してあるが、狭い。もう少し広いといいなと感じます。	出来るだけ、使いやすいように環境を整え、パーティション等で仕切って行っております。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	22	0	0	2	素晴らしい先生方が揃っています。	
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	11	4	0	9		
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	24	0	0	0		
	5 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	21	1	0	2	様々な学習プログラムを個々の発達に合わせてレベルを取り組んでくださっていて大変為になっています。子どもも毎回変化のある活動で楽しんで取り組んでいます。	ありがとうございます。今後もより質の高い療育を目指し、日々取り組ませていただきます。
	6 放課後児童クラブや児童館とも交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	2	4	14		
保護者 への 説明等	7 支援内容、利用者負担額等について丁寧な説明がなされたか	24	0	0	0		
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	24	0	0	0	連絡帳にて、細かく内容や様子を伝えてくれていて、共有・理解が出来ている。	
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	24	0	0	0	一人一人の子どものことをしっかりと把握してくださっています。アドバイスも共感を持ってしてくれています。	
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	2	8	11	他の保護者との関わりがない為、分からない。別になくていいと思う。特に希望はなく、このままいいと思います。	今後も開催は特に考えておりませんが、今年も行事等は計画していることと検討中です。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているかどうか	15	2	0	7	そのような状況になったことがないので特に分からない。	苦情の受付に関しては常時受け付けております。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	24	0	0	0		
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	16	3	0	5		
	14 個人情報の取り扱いに十分注意されているか	21	1	0	2		
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	22	2	0	0	防犯訓練はありますか？	地震・火災の避難訓練、不審者訓練は年3回は実施しております。今後、定期的を実施できるよう検討してまいります。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	20	2	0	2		
満足	17 子どもは通所を楽しみにしているか	21	3	0	0	本人の気分による。	

年度	18	事業所の支援に満足しているか	24	0	0	0	進歩する姿を感じている為、満足している。
----	----	----------------	----	---	---	---	----------------------

※この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者の皆様に「保護者等向け放課後等デイサービス評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月 18日

事業所名 運動学習支援教室そら・ふね長浦

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7		仕切り等で区画を区切り、用途に応じて使い分けている	
	2	職員の配置数は適切である	7			
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	2	5	入り口や療育スペースは、バリアフリー対応はしていないが、トイレには手すりがあり、立つ座るがしやすくなっている	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	7			
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7			
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7			
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7		自己評価表をホームページに公表している	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	6	第三者委員の立ち入りは無いが、社内他事業所職員、及び上司の巡回がある	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7		毎月1度心理士による研修がある。また、事業所の内部研修で療育の研修・身体拘束委員会を定期的に開催している	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7			
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	1	6	標準化されたアセスメントツールの使用は行っていないものの、内部研修で話し合った個々の現状課題を文書化し、それに沿った課題の提供を行っている	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	1	6		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	7			
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7			
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	7			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7			
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	5	送迎で職員がバラバラな動きをしてしまう為、皆でその日の振り返りが出来ていないが、振り返りノートを活用し共有を図っている	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7			
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7			
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	1	6	主に児発管が対応しているが、別件での対応を行っていることもあり、全ての職員が対応できるようになっている	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	1	6		
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	1	1		現在事例無し
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	1	1		現在事例無し
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	1	1		現在事例無し
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	2			現在事例無し
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	2	他専門機関からの研修は行っていないが、相談支援事業所からの助言を受けることがある	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		7		
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		7		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7			
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		7	ペアトレは現在行っていないが、保護者からの要望があった際に対応していく	
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7			
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	7			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7		日々の情報共有で悩みを聞き取り、適したアドバイスをを行っている	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		7		開催要望があれば、対応していく
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	1	6		
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	7			
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		7		
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	7			
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7		訓練の実施以外にも、避難用バッグを用意している	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	7		てんかんの薬をデイでも保管している	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7			
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7		ヒヤリハットは常に共有し、事故に発展しないように努めている	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7			
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	7		拘束の三要件を毎回の委員会で確認し、保護者に共有している	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月 18日

事業所名 運動学習支援教室そら・ふね長浦

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	1	6		仕切り等で区画を区切り、用途に応じて使い分けている	
	2	職員の配置数は適切である	7			シフトを調整して数はもちろん男女それぞれの職員が居るようにしている	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	2		5	入り口や療育スペースは、バリアフリー対応はしていないがトイレには手すりがあり、立つ座るがやりやすくなっている	バリアフリーの必要がある児童がいたら検討する
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7				
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	1			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7			自己評価表をホームページに公表している	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		2	5	第三者委員の立ち入りは無いが、社内他事業所職員及び上司の巡回がある	必要があれば第三者委員の評価を受け、業務改善につなげていく
8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7			毎月1度心理士による研修がある。また、事業所の内部研修で療育の研修・身体拘束委員会を定期的開催している		
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7				
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	1	1	5	標準化されたアセスメントツールの使用は行っていないものの、内部研修で話し合った個々の現状課題を文書化しそれに沿った課題の提供を行っている	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	1			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7				
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7			休日や長期休暇では外出やイベントを行っている	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7				
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	1	1	5	送迎の影響で職員がバラバラな動きになってしまう為、皆でその日の振り返りが出来ないが、振り返りノートを活用し共有を図っている。	残っている職員だけでも振り返りを行っていききたい
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7				
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7				
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	6	1				



関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	1	5	1	主に児発管が対応しているが、別件での対応を行っていることもあり、全ての職員が対応できるようになっている	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7			学校に児童の迎えに行った際など学校での様子、デイサービスでの様子の情報を共有している	急な下校時刻の変更もあるので、毎回時刻を確認している
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		2			現在事例無し
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	1	6			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		2			現在事例無し
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	2		他専門機関からの研修はないが、相談支援事業所からの助言を受けることはある	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある			7		
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		2	5		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7			モニタリングではもちろん、送迎の際や、連絡帳、電子メールでも状況の共有を行っている	
保護者 への説明 責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	1	5	ペアトレは現在行っていないが保護者からの要望があった際に対応していく	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7				
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7			日々の情報共有で悩みを聞き取り、適したアドバイスを行っている	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		1	6		開催要望があれば、対応していく
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7				
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		1	6		
	35	個人情報に十分注意している	7				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			7		

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6	1		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7			訓練の実施以外でも、避難用バッグを用意している
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7			拘束の三要件を毎回の委員会で確認し、保護者に共有している
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7			
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7			ヒヤリハットは常に共有して事故に発展しないように努めている